

子どもの体力・運動能力 の向上について

～ 今後のスポーツの振興に向けて～

かながわ教育大綱（抜粋）

（第1回総合教育会議(H27.6.16)における主な意見）

未病を治す三つの要素である「食」「運動習慣」「社会参加」も子どものうちから習慣づいていないと、子ども達が中高年齢層になった時に、そこから未病対策を始めることは不可能に近いのではないか。

社会全体が運動をしなくても済むような社会になってきている。社会の大きな変化の中で、食とか運動とか社会参加について考えていくことがこの会議の課題である。

小さいときから運動、意識をもって未病を防ぐことは、メンタル的にも良い影響を与える。



【生きる力を育み、学び高め合う学校教育の推進】

子どもたちの健全な心と体を培い、豊かな人間性を育むため、遊び・運動の奨励、運動部活動の活性化や児童生徒の健康・体力づくりを推進するとともに、食育の普及啓発を図ることなどにより、子どもの未病対策を進めます。

未病を治すかながわ宣言～未病を治す3つの取組み～

「2つの理念」

- ・「超高齢社会を幸せに生きるには未病を治すことが大切だ」という価値観を県民文化として育てます。
- ・そのため、未病を治す考え方を皆で学び、県民一人ひとりはもとより社会のあらゆる主体が協力しあって、未病を治す取組みを展開します。



「3つの取組み」

- ・食 : 医食農同源の考え方で、バランスの良い食生活を送る取組み
- ・運動 : 日常生活に運動やスポーツなど身体活動を取り入れる取組み
- ・社会参加 : 人と人の出会い・ふれあい・交流を進める取組み

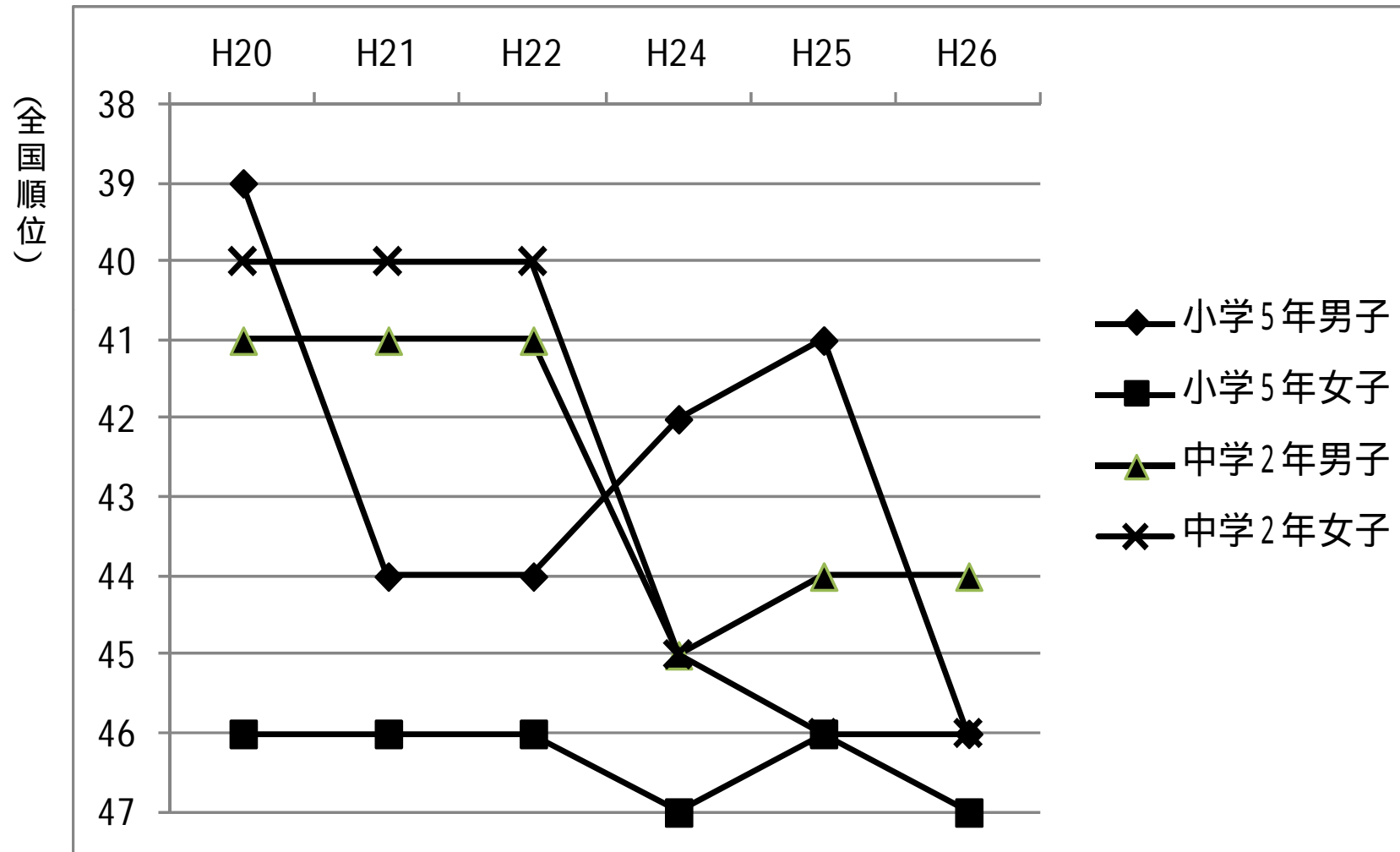
子どもの体力・運動能力の現状

平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査本県結果(体力合計点)

	男子			女子		
	神奈川県 平均	全国 平均	順位	神奈川県 平均	全国 平均	順位
小学5年生	52.49	53.91	46位	52.47	55.01	47位
中学2年生	39.92	41.63	44位	46.18	48.55	46位

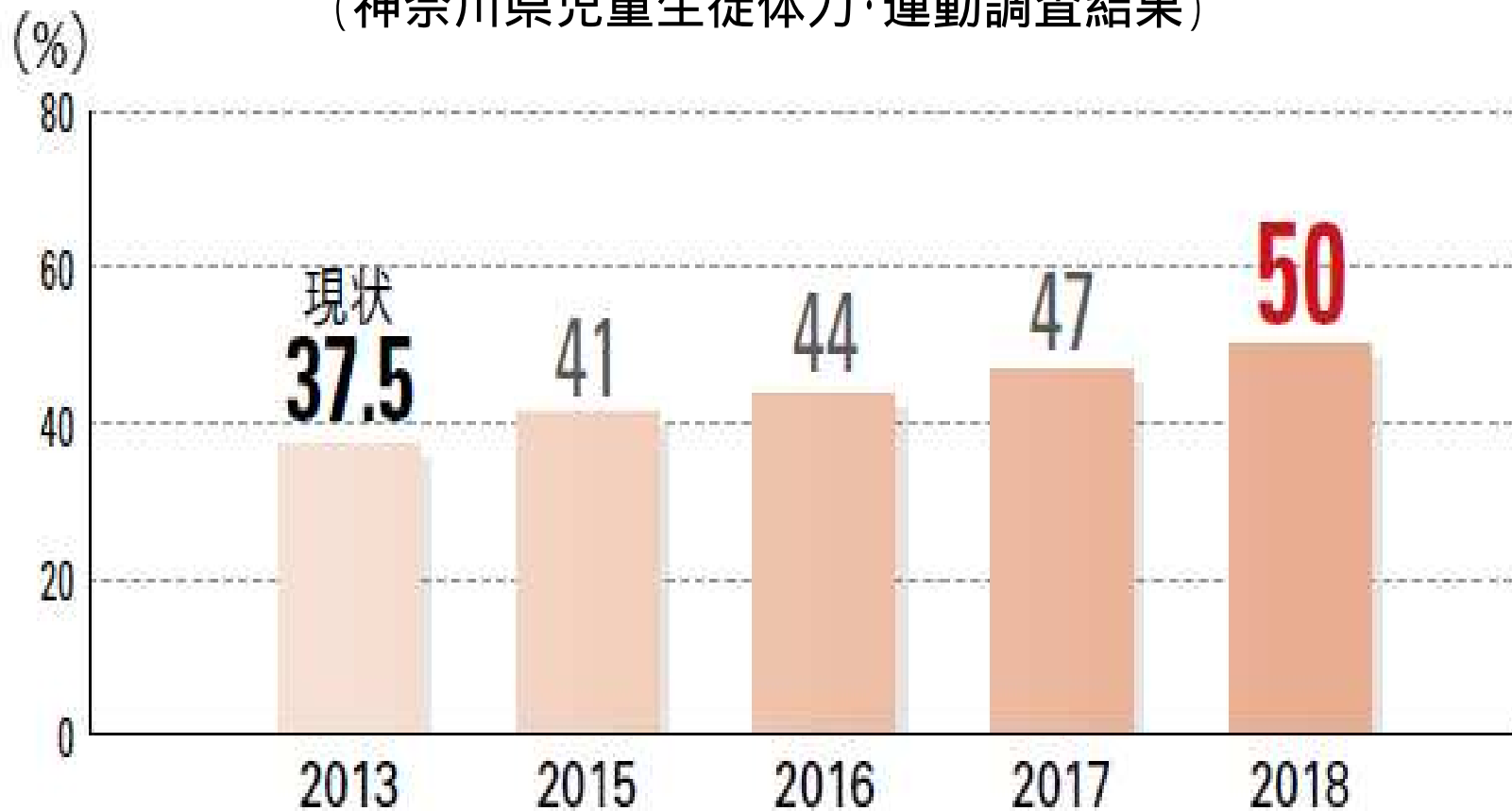
子どもの体力・運動能力の現状

平成20年度以降の全国順位の推移(体力合計点)



子どもの体力・運動能力の現状

小学生が週3回以上の運動やスポーツを実施する率
(神奈川県児童生徒体力・運動調査結果)



小学生が週3回以上、外で遊んだり、運動やスポーツを実施したりする率が、これまで30%台に低迷している状況を踏まえ、毎年3%ずつ上昇させることを目指し、平成30年に50%とすることを旨とする。

【かながわグランドデザイン 第2期実施計画】

子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組み

子ども キラキラプロジェクト

体力向上と運動習慣の確立、生活習慣病の改善を図り、
子どもの時から未病を治す礎をつくる。

【プロジェクト】体力・運動能力の向上

「体力テスト」キャラバン隊の派遣

「体力向上運動」の開発

大学生ボランティアによる小学校への支援

【プロジェクト】運動習慣の確立

運動習慣カードの作成・配付

「子どもキラキラタイム」の実施

夏休み「みんなで朝ラジ!!プロジェクト」の推進

【プロジェクト】生活習慣の改善

「Joy! Joy! 通信」の活用

食育の推進

第16回 黒岩知事との“対話の広場” Live神奈川における意見

テーマ：子どもの体力向上で健康寿命日本一！～子どもの頃から未病対策～
(要旨)

部活に入っていない人や文化部の人などが運動できる場所は本当に少ないので、遊べる場所を作って欲しい。

保護者に子どもを外で遊ばせるという意識が低く、建物の中に遊びに行ってしまう。

運動を始めるにあたっては、興味を持っていることが大きいと思う。

体力テストのコツをつかむのが苦手な児童が、体力テストキャラバン隊の先生に丁寧に教えてもらい、一緒に走って励まし続けてくれたことがうれしかったと言っていた。

体力向上には食生活から改善しなければならないと思う。学校では食に関する授業が少ない。

もともと運動が嫌いだったり苦手だったりする人の意見も(施策やプロジェクトに)取り入れて欲しい。